

50年のあゆみ

西暦	元号	出来事
1971年度	昭和46年度	社会福祉法人認可(11月13日)
//	//	低所得者に小口資金貸付
//	//	歳末たすけあい運動実施
//	//	世帯更生資金(現生活福祉資金)貸付事業実施
① 1972年度	昭和47年度	機関紙「社協」創刊
//	//	敬老大会を開催(市と共催)
1973年度	昭和48年度	マイクロバス「みどり号」の運営開始
//	//	交通遺児入学準備金(現交通遺児入学等祝金)を贈る
//	//	ねたきり老人のみまいを実施
//	//	第1回歳末たすけあいチャリティーポーリング大会開催
② 1974年度	昭和49年度	赤い羽根・歳末たすけあい街頭募金開始
//	//	車いす貸出事業(市受託事業、現本会独自事業)開始
//	//	第1回表彰式開催
1976年度	昭和50年度	歳末無料バザー実施
//	昭和51年度	福祉会館内売店事業・たばこ販売機を委託設置
1977年度	昭和52年度	事務所が市役所第二分庁舎に移転
1978年度	昭和53年度	敬老演劇大会(中小企業建設業協会と協賛)開催
1979年度	昭和54年度	障がい者を励ます会(市と共催)開催
//	//	市民福祉に対する意識調査の実施
1980年度	昭和55年度	ボランティアスクール(市と共催)開始
//	//	事務所が福祉会館に移転
③ 1981年度	昭和56年度	障がい者の作品展・報道展開催
//	//	ボランティアコーナー(現ボランティアセンター)開設
④ 1982年度	昭和57年度	福祉バザー(福祉まつり)開催
1983年度	昭和58年度	パンフレット「あなたはどんな親ですか」発行
//	//	障がい者を励ます集い開催
//	//	母子・父子家庭の児童に入学祝金等を贈る
⑤ 1984年度	昭和59年度	東久留米市福祉会館管理運営開始
⑥ 1985年度	昭和60年度	家庭介護講座開催
//	//	社協3か年発展計画策定
⑦ 1986年度	昭和61年度	ミニハンディキャップ貸出事業開始
//	//	ふれあいクラブ(デイ・ホーム事業)開始(市受託)
1987年度	昭和62年度	障がい者の絵画・陶芸教室開始
//	//	在宅福祉サービス意向調査実施
1988年度	昭和63年度	ボランティア活動に対する意識調査実施
1989年度	平成元年度	ふれあいサービス(在宅福祉サービス事業)実施
//	//	ふれあいクラブ(デイ・ホーム事業)西部地域センターに移転
1990年度	平成2年度	ボランティアのまちづくり推進事業実施
1991年度	平成3年度	社会福祉法人認可20周年
//	//	シンボルマーク制定
1992年度	平成4年度	子どもとお年寄りの交流会開催
//	//	相談機関シンポジウム開催
//	//	在宅介護者の集い開催
//	//	福祉機器展開催
⑨ 1993年度	平成5年度	福祉読本「いのちかがやけ」発行
//	//	ふれあいのまちづくり(ふれまち)事業実施
//	//	ふれまち事業 センターオアシス「何でも相談室」開設
//	//	シニアボランティア調査実施
1994年度	平成6年度	地区福祉「懇談会」(全14回)実施
//	//	福祉読本「ともに生きるまち」発行
//	//	ふれまち事業 青少年ワークキャンプ事業実施
⑩ 1995年度	平成7年度	高齢者・障がい者疑似体験プログラム実施
//	//	第一次地域福祉活動計画「ふくしの街おこしプラン」策定
//	//	ふれまち事業 小地域福祉活動ミニディ事業実施
1996年度	平成8年度	くるめ塾(旧老人大学・寿大学)開始
//	//	ホームヘルパー等養成講習3級課程実施
//	//	21世紀の事業目標検討委員会答申
⑪ 1997年度	平成9年度	ハートフルマーク事業開始
//	//	ふるさとカレンダー作成・販売
//	//	地域福祉情報誌「かがやき」創刊
//	//	福祉情報資料室開設(現ボランティア交流室)

西暦	元号	出来事
1998年度	平成10年度	米作り体験学習実施
//	//	要約筆記講座実施
1999年度	平成11年度	子育てグループ助成事業実施
//	//	保育サービス講習会開催
//	//	初級朗読講座実施
//	//	地域福祉権利擁護事業開始
//	//	東久留米生活寮「優朋」開設
//	//	NPO実務研修開催
//	//	NPO創設資金貸付事業実施
2000年度	平成12年度	民間福祉オンブズパーソン制度「福祉ラインくるめ」開始
2001年度	平成13年度	社会福祉法人認可30周年
//	//	三宅島避難者支援事業実施
//	//	ひとり親家庭・知的障がい児親子体験学習開催
2002年度	平成14年度	ファミリー・サポート・センター事業実施(市受託)
//	//	離職者支援資金貸付制度開始
//	//	日本語ボランティア養成講座協働開催
2003年度	平成15年度	緊急小口資金・長期生活支援資金貸付事業開始
//	//	中高年のためのマル得セミナー開催
//	//	社協寄付付き「フルメイザーカレンダー」発行
//	//	ホームページ開設
2004年度	平成16年度	成年後見制度利用支援事業実施(市受託)
//	//	社協隊/パトロール事業協働開催
//	//	精神保健福祉ボランティア養成講座開催
//	//	第二次地域福祉活動計画「安心と心ゆたかな地域生活への支援戦略」策定
2005年度	平成17年度	小地域福祉活動 地域懇談会開催
2006年度	平成18年度	社協事務所がわくわく健康プラザに移転
//	//	市5地区センター管理運営事業開始(市指定管理者)
//	//	社協塾(旧くるめ塾)開始
2007年度	平成19年度	ボランティア見本市 災害ボランティア講座実施
//	//	成年後見制度推進事業実施(市受託)
2008年度	平成20年度	歳末たすけあいチャリティーイベント開催
//	//	成年後見制度に関する意識調査実施
2009年度	平成21年度	会員会費の仕組み変更
//	//	会員情報誌「いきいき ち・い・き」創刊
//	//	防災情報交換サロン開催
//	//	東久留米市生活寮「優朋」市内社会福祉法人に移管
2010年度	平成22年度	ホームページリニューアル
//	//	地域福祉情報誌「社協フォーカス」発行
//	//	ボランティア・市民活動フェスティバル開催
⑫ 2011年度	平成23年度	公式マスコットキャラクター「くるみちゃん」制定
//	//	社会福祉法人認可40周年
//	//	災害ボランティアセンター市民スタッフ養成講座開催
//	//	東日本大震災にかかる本市受入避難者への支援実施
//	//	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練実施
2012年度	平成24年度	災害時におけるボランティア活動支援に関する協定締結(東久留米市)
//	//	福祉関連団体アンケート調査実施
⑬ 2013年度	平成25年度	第三次地域福祉活動計画「安心と心ゆたかなみんなのふくしのまちづくり」策定
2014年度	平成26年度	社会貢献型後見人養成講習開催
//	//	福祉相談所事業(試行)実施
//	//	地域福祉コーディネーター事業開始(市受託)
2015年度	平成27年度	地域福祉コーディネーター事業
2017年度	平成29年度	弥生地区交流イベント開催
2018年度	平成30年度	市内社会福祉法人連絡会設立支援
2020年度	令和2年度	ひきこもり家族会準備会立ち上げ
//	//	いのちかがやけ作品展オンライン開催
2021年度	令和3年度	社会福祉法人認可50周年



②赤い羽根・歳末たすけあい街頭募金開始
1974年度(昭和49年度)



④福祉バザー(福祉まつり)開催
1982年度(昭和57年度)



⑥家庭介護講座開催
1985年度(昭和60年度)



⑧シンボルマーク制定(社会福祉法人認可20周年記念)
1991年度(平成3年度)



⑬第三次地域福祉活動計画「安心と心ゆたかなみんなのふくしのまちづくり」策定
2014年度(平成26年度)



①機関紙「社協」創刊
1972年度(昭和47年度)



③障がい者の作品展・報道展開催
1981年度(昭和56年度)



⑤東久留米市福祉会館管理運営開始
1984年度(昭和59年度)



⑦ミニハンディキャップ貸出事業開始
1986年度(昭和61年度)



⑨福祉読本「いのちかがやけ」発行
1993年度(平成5年度)



⑩高齢者・障がい者疑似体験プログラム実施
1995年度(平成7年度)



⑪ハートフルマーク事業開始
1997年度(平成9年度)



⑫公式マスコットキャラクター「くるみちゃん」制定
2011年度(平成23年度)

50周年の取り組み

特別表彰

過去10か年に渡り(前回40周年以降)継続的に寄付や貢献をしてくださった方や功績が顕著な団体に対し特別に記念表彰状を贈ります。具体的には、平成23年の40周年以降の10年間に渡り、一定額以上のご寄付をいただいた個人や団体の方や、ボランティア活動を始めとする地域貢献活動を行っていただいている団体など、地域福祉の推進に多大なる寄与をされた方々に対し、特別表彰を行い、その功績をたたえます。

社協だよりのデータ化

これまでの社協のあゆみを表すものとして、昭和47年9月に創刊した「社協だより」(全214号)を電子データ化します。多くの方がご覧になれるよう社協ホームページで公開します。また、CDに保存し、記録用や関係機関などへの配布にも利用します。



記念品(クリアファイル)の作成

社協の公式マスコットキャラクター「くるみちゃん」をモチーフにした50周年記念のロゴをプリントしたクリアファイルを作成します。記念品としてお配りするほか、機会あるごとに使用しPRに努めます。

